

第3回 精神科医療の機能分化と質の向上等に関する検討会	
平成24年4月25日	資料2

日本作業療法士協会
提出資料

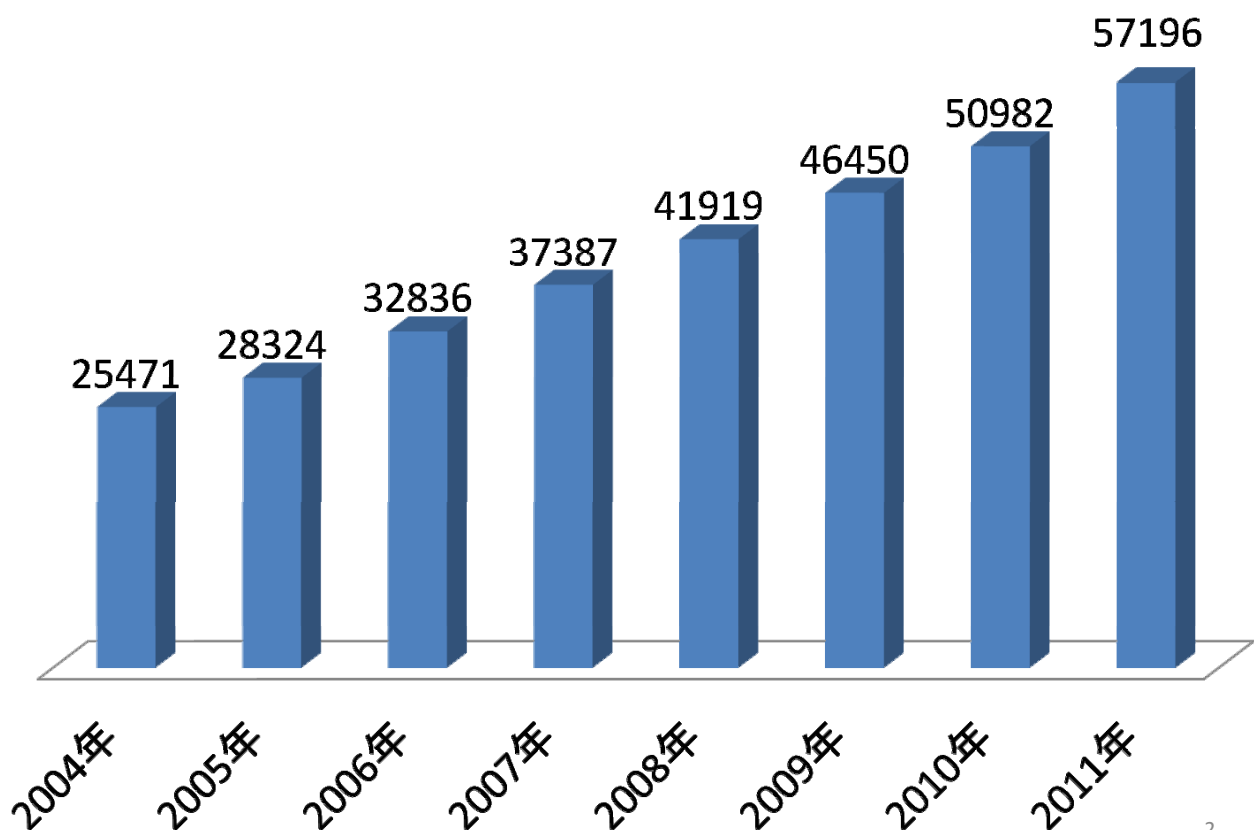
回復過程に沿った作業療法の役割

— 多職種チームで
急性期、回復期、維持期を支援 —

一般社団法人 日本作業療法士協会

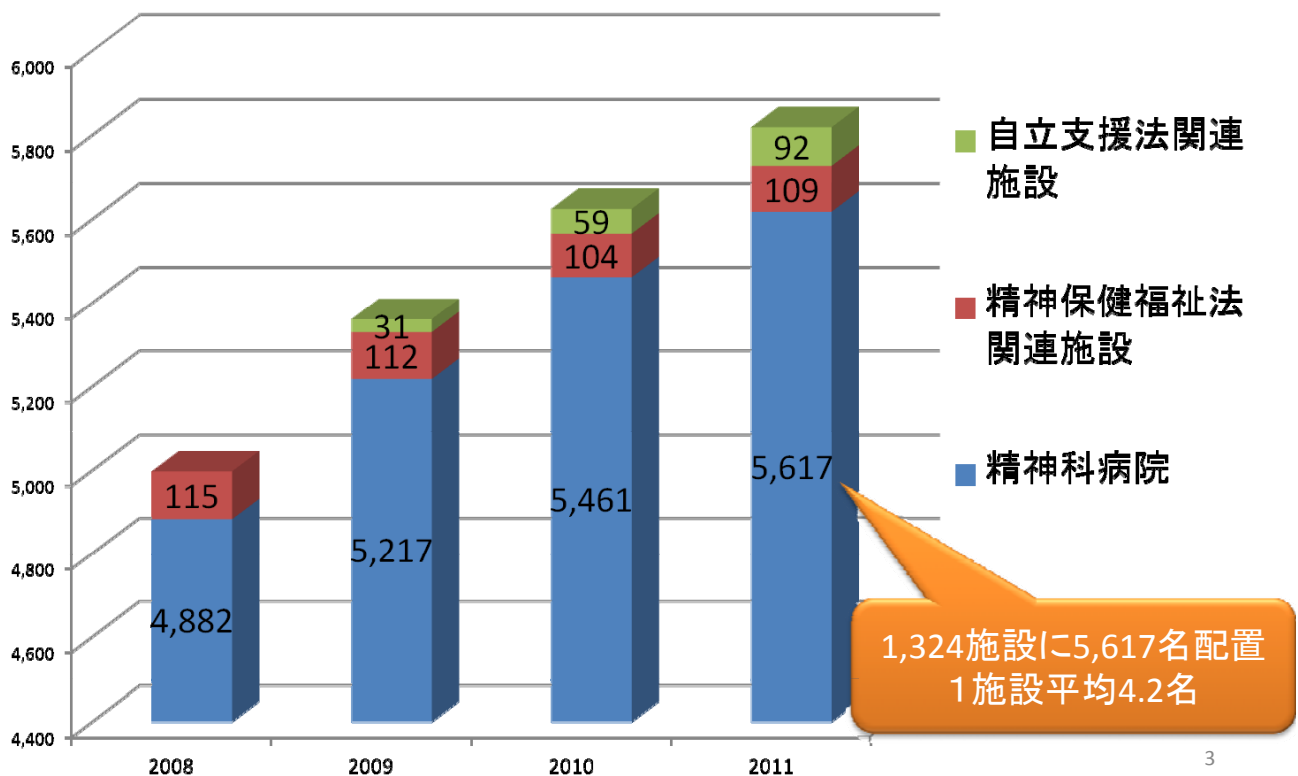
1

作業療法士の推移(有資格者数)



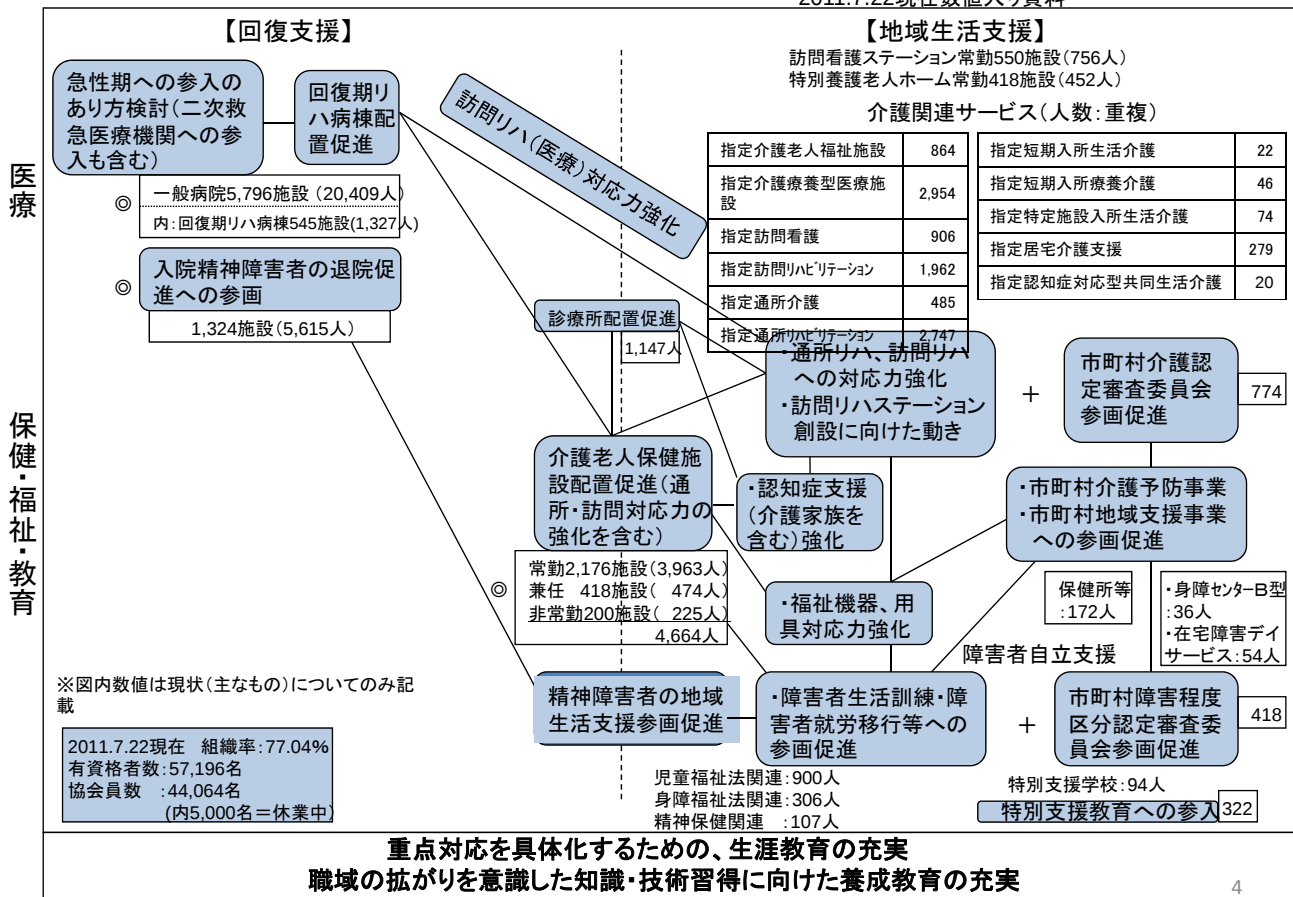
2

精神医療保健福祉領域における 作業療法士配置状況(日本作業療法士協会会員統計より)



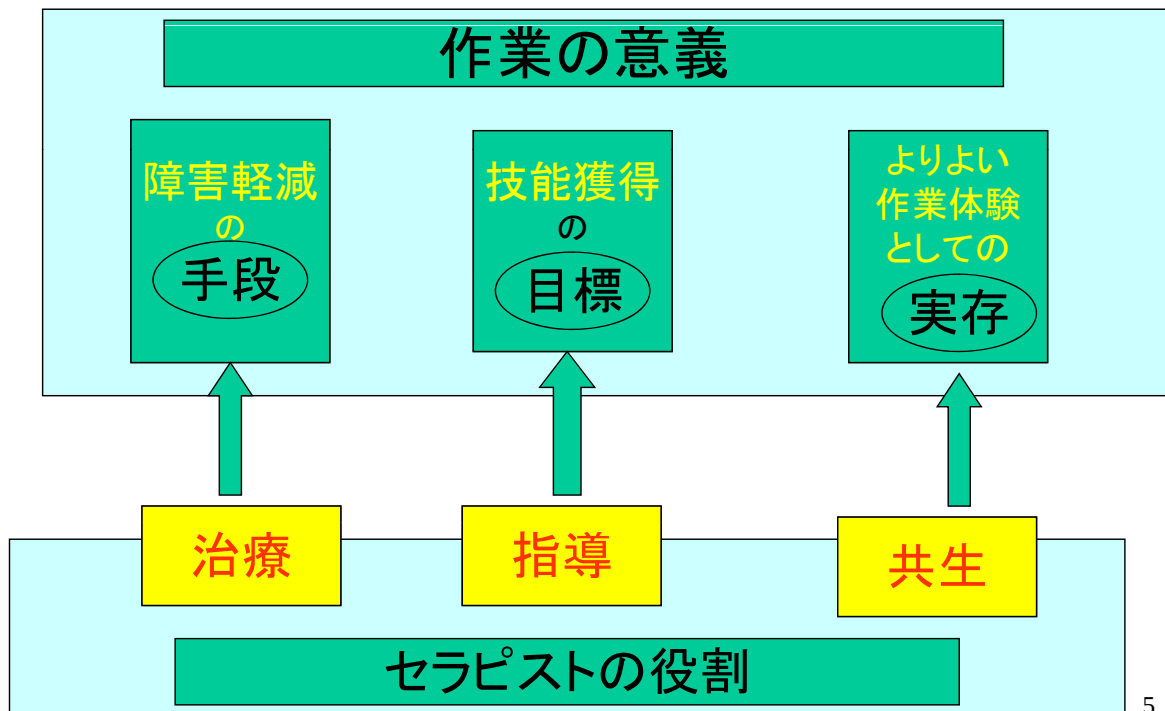
(社)日本作業療法士協会が中期的に対応すべき重点事項(基本的な考え方)

2011.7.22現在数値入り資料

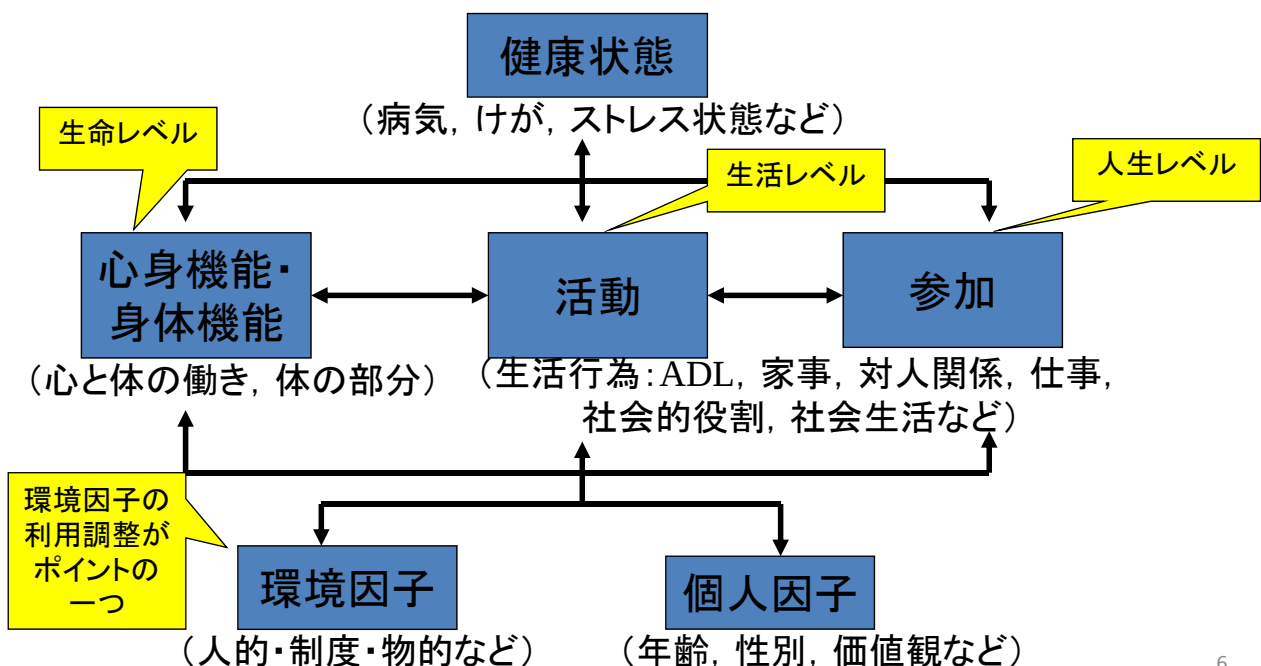


作業療法における作業の意義とセラピストの役割

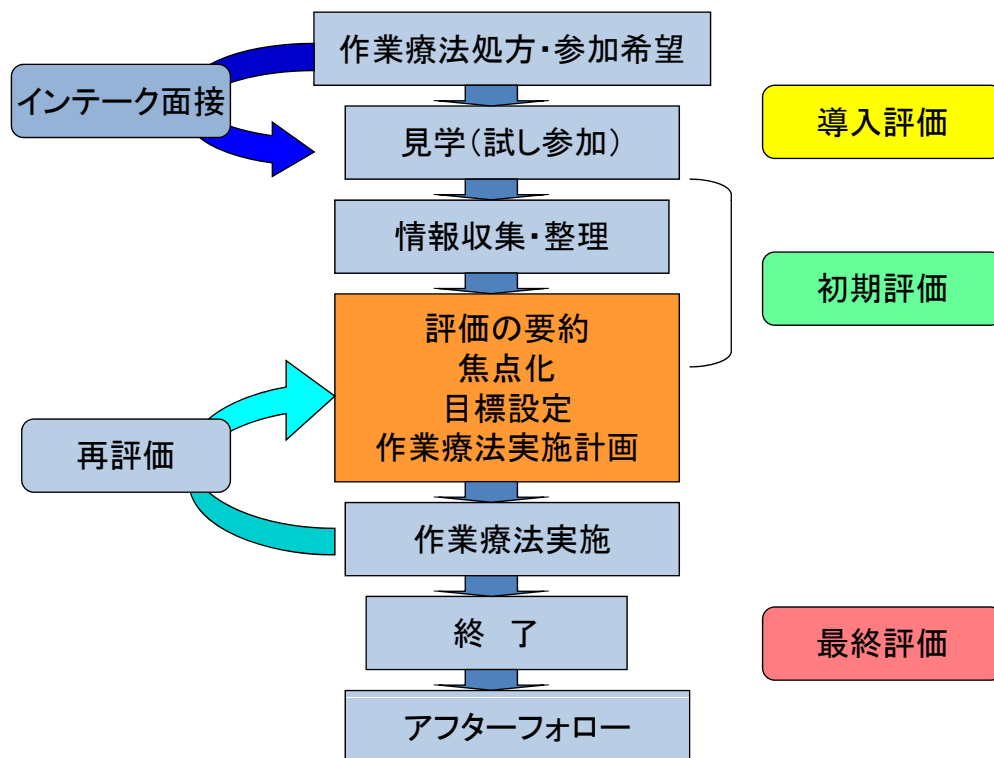
(2001. 鎌倉)



ICFの視点で捉える



作業療法の基本的な流れ



7

作業療法評価項目の例

これまでどのように生きてきたか

家族構成, 生活歴, 現病歴, 生活史上での重要なできごと, 家庭内・社会での役割

いまどのように生活しているか

精神機能, 身体機能, 身辺処理, 生活管理, 家事行為, コミュニケーション対人関係, 作業遂行, 移動・社会資源利用

自分をどのように捉えているか

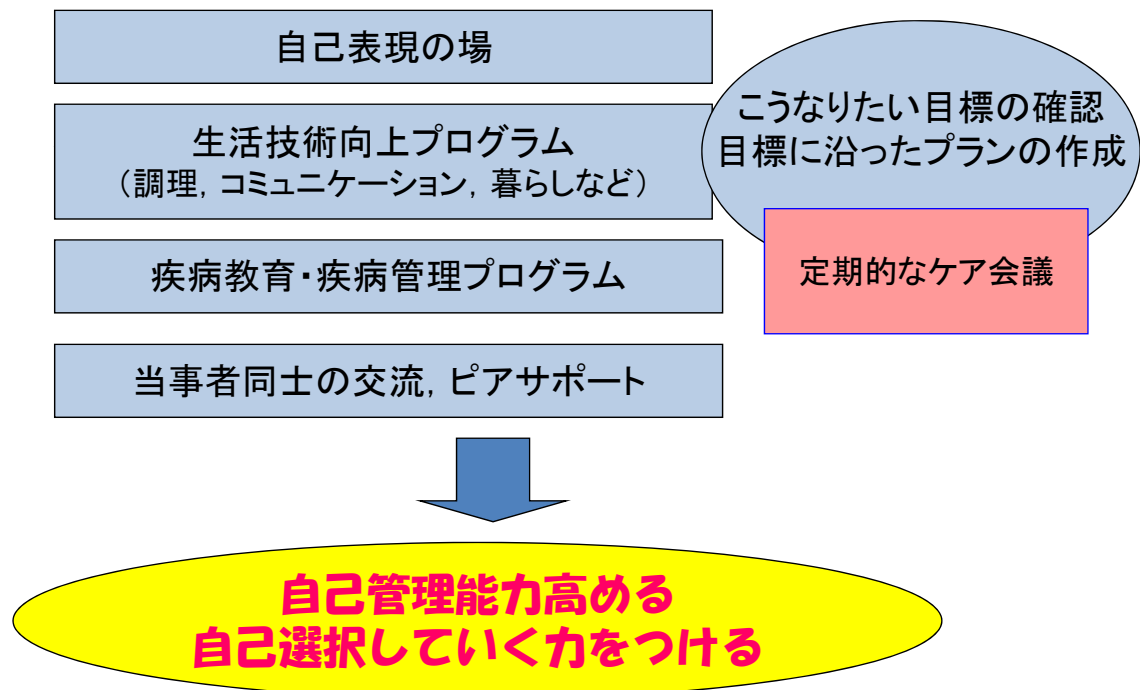
自己能力の現実検討, 自己認知, 病気や障害に対する認識と受容

これからどのような生活をしたいか

本人の希望, 周囲への期待, 予後予測

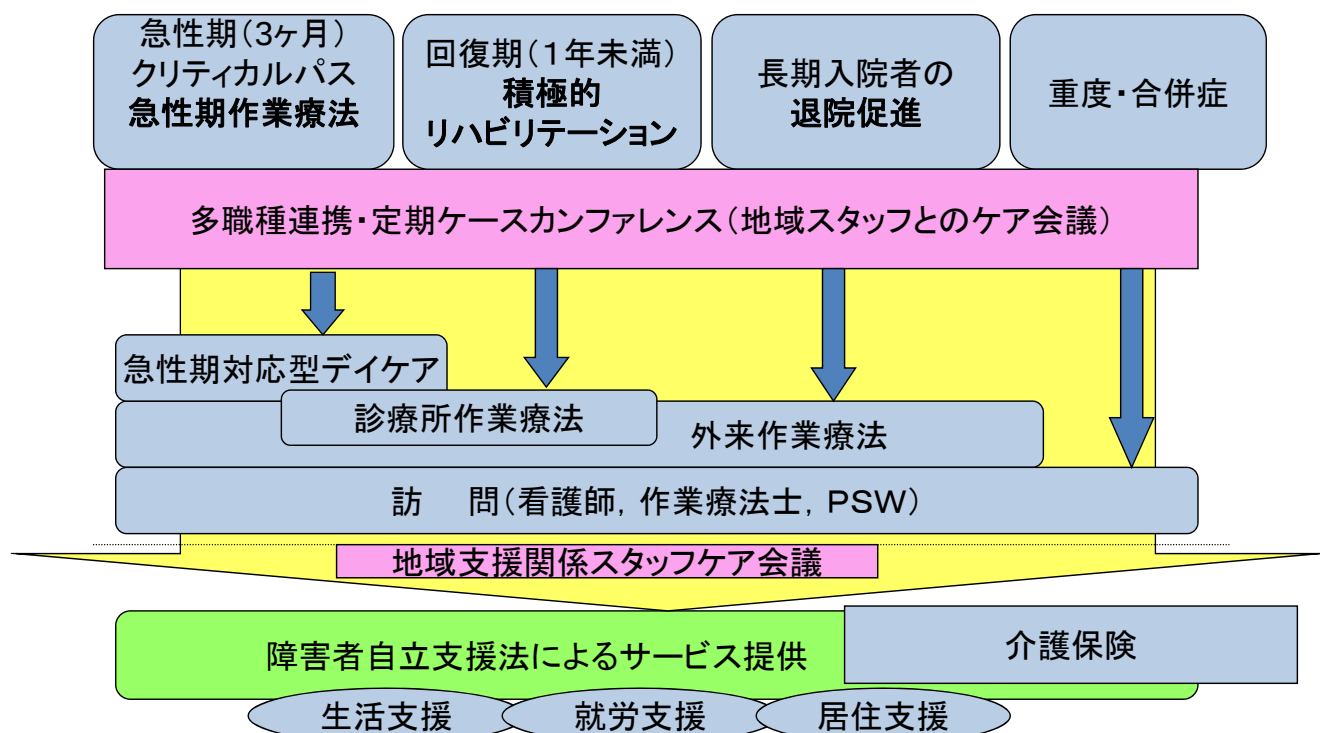
8

作業療法プログラムの組み立て



9

今後の精神医療保健福祉のイメージと作業療法士の役割



10

回復過程と作業療法（山根：香山が一部修正）

	急性期		回復期		維持期	終末期
	要安静期	亜急性期	前期	後期		
	1～2週間	～1ヶ月	～3ヶ月	～1年		
OT		早期OT		回復期OT	維持期OT	緩和期OT
入院治療	精神科救急・急性期病棟			回復期 リハ病棟	療養病棟	緩和病棟
				一般精神病棟		
外来治療				ショートケア・デイケア（1～2年） 外来OT・訪問OT（必要期間）		
生活支援				社会復帰施設（必要期間）		

11

平成19～21年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業
の経験から

- ・19年度「精神科病院入院患者の早期退院促進プログラム開発及び地域生活移行のシステム構築に向けた研究」
- ・20年度「精神障害者の退院促進および円滑な地域移行のための地域支援体制構築に向けた研究」
- ・21年度「精神科デイケア,外来作業療法,訪問看護等医療におけるリハビリテーションにあり方に関する研究」

入院中の支援体制

多職種チーム
定期的なケア会議

入院中のプログラム

退院後の生活をイメージした
個別のプログラム

早期から地域のスタッフが関与

12